

7-5

SSの忘れ物をなくそう！！

利用者様に安心してご利用頂くために！！

業務改善

サービス向上

介護老人福祉施設 いなぎ苑

介護員 菊池 昌代・大瀧 文美

介護員 荘司 岳志・長谷川 あつみ

東京都稲城市百村255番地

居宅 山尾 良広・浅海 豊 事務 中田 直行

TEL：042-379-5500

E-mail：info@inagien.or.jp

FAX：042-379-5131

URL：http://www.inagien.or.jp

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

いなぎ苑は、緑に恵まれた多摩丘陵の高台に 1995 年に開設されました。介護福祉老人施設に併設して、ショートステイ・デイサービス・ホームヘルプ・訪問入浴・居宅支援・委託事業である地域包括支援センターの各事業所を展開しています。

〈取り組んだ課題〉

- ショートステイの荷物の扱い方の周知徹底
- 職員の荷物に対する認識の統一と意識の向上
- ショートステイの忘れ物「〇」に向けての具体的な取り組みの実施

〈具体的な取り組み〉

- 活動のチームを作り、利用者様に安心して利用して頂くためにをモットーに活動した。
- 忘れ物の現状把握を実施
- 職員の感覚や意識にずれがあり、要因の解析を行い、原因を調査
- 重要要因を解決するための対策を検討し実施
 - ・ショートステイの「受付票」と「荷物チェック表」を見直しチェック体制の不備を解消する
 - ・「業務行程表」と「手順書」のマニュアルを作り荷物の扱い方を職員に明確にする
 - ・職員・ご利用者様に利用時の荷物・チェック表の記入の周知を図る
- 定期的な分析と評価、検討

〈活動の成果と評価〉

- 業務行程表を作成することによって、全ての部署が関わっていることがわかり、連絡や扱い方がスムーズになった。
- ショートステイの荷物の扱い方への職員の意識が高まった。
- 扱い者のサイン欄をもうけ責任の所在を明確にしたことによって、職員の責任感がうまれた。
- データーとして共有することで苑全体の問題として取り上げることができた。データーの大切さがわかった。

〈今後の課題〉

- 定期的な検証を行い、問題があった時は改善し荷物に対しての意識を高めていく。

〈参考資料など〉

福祉QC